

DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/ DocuPrint CM210 z/DocuPrint CP310 dw II/ DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw

はじめにお読みください

本機をセットアップする

重要

・本機をセットアップする前に、「安全にご利用いただくために (P.3)」をお読みください。

補足

・各手順で使用しているイラストは、特に断りがない限り、DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 z を例に記載しています。

1. 同梱物を確認します。

- ・ 本書
- ・ 電源コード
- ・ 操作パネルラベル (DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dwのみ)
- ・ Wi-Fiアダプター
- ・ 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク
- ・ 電話線 (DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 zのみ)

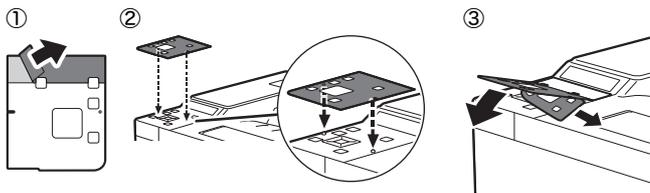
補足

・ USBケーブルまたはLANケーブルはお客様でご用意ください。

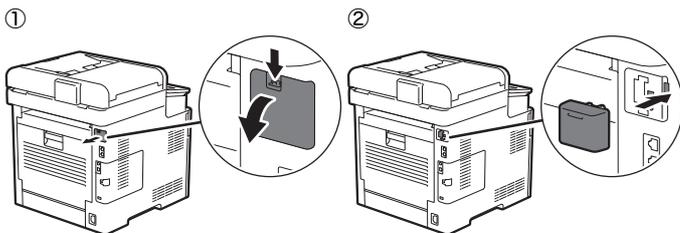
2. 梱包材を取り外します。

3. 操作パネルラベルを貼ります。

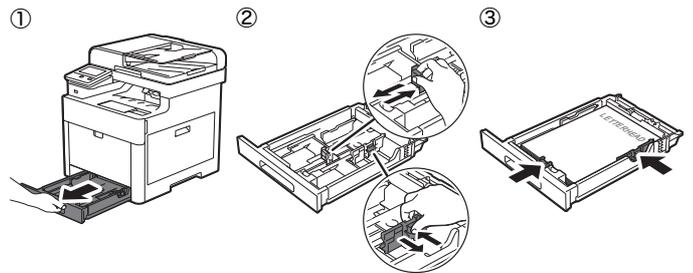
(DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dwのみ)



4. Wi-Fiアダプターを取り付けます。



5. 用紙をセットします。



参照

・リーガルサイズ用の紙をセットする場合は、トレイを引き伸ばしてください。詳しくは「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

6. コンピューターに接続します。

無線LAN接続

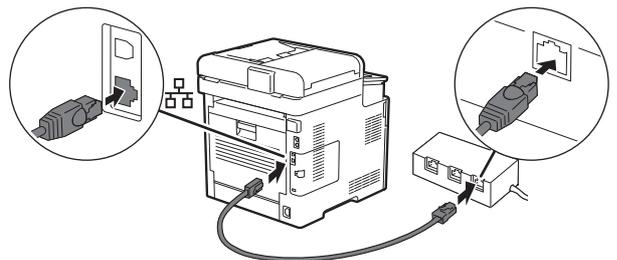
重要

・無線ネットワークに接続する場合は、LANケーブルを本機に接続しないでください。

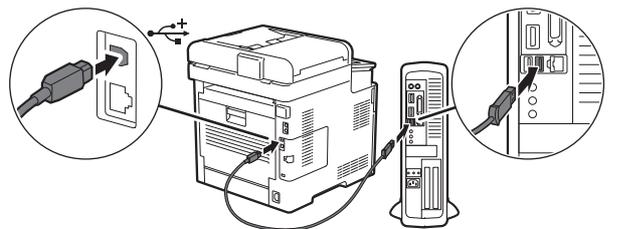
参照

・無線LAN設定については、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

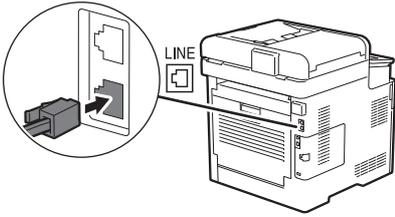
有線LAN接続



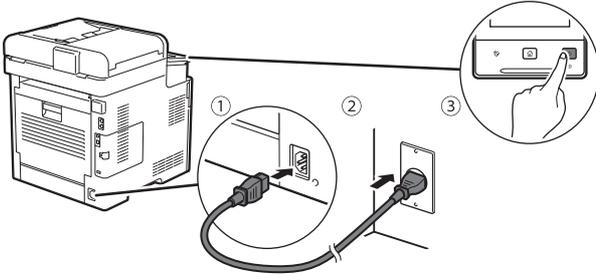
USB接続



7. 電話回線に接続します。
(DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/
DocuPrint CM210 zのみ)



8. 本機の電源を入れます。



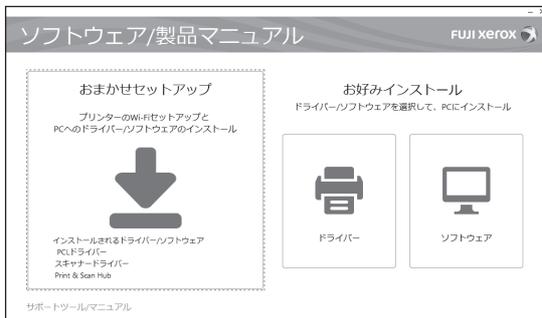
補足

・コンピューターに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示された場合は、「キャンセル」をクリックします。

9. ソフトウェアをインストールします。

Windows®

- (1) コンピューターに「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをセットします。
- (2) [おまかせセットアップ] をクリックします。



- (3) 画面の指示に従ってインストールを完了します。

参照

・必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、「お好みインストール」を選びます。詳しくは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

Mac

ここでは、OS X 10.11 を例に Bonjour 接続で本機を追加する手順を説明します。

参照

・USBによる接続の場合や、IPアドレスを手動で設定する場合は、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

- (1) 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
- (2) ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
- (3) フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
- (4) 画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。
- (5) [システム環境設定] ウィンドウを開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
- (6) **+** をクリックします。



- (7) [デフォルト] をクリックします。
- (8) [種類] に [Bonjour] と表示されている本機の名前を選びます。
- (9) [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。
- (10) [追加] をクリックします。
- (11) 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています	
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
 静電気 破損注意  注意  発火注意  破裂注意  感電注意  高温注意  回転物注意  指挟み注意	
○記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
 禁止  火気禁止  接触禁止  風呂等での使用禁止  分解禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	
 指示  電源プラグを抜く  アース線を接続せよ	

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事(D種)を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。

延長コードは使わないでください。たこ足配線をしてください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の清掃を行う場合は、機械の電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



■ DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z / DocuPrint CM210 z

連休などで長期間、機械（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

■ DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw

連休などで長期間、機械を使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
 - ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
 - ・電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。
- 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



- 以下のような場所には機械を設置しないでください。
- ・発熱器具に近い場所
 - ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・調理台や加湿器のそばなど



■ DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z / DocuPrint CM210 z

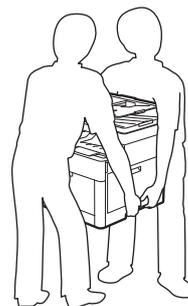
機械の重さは30.6kg（本体：30.2kg + トナーカートリッジ：0.4kg）です。必ず2人以上で持ち運んでください。

■ DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw

機械の重さは24.1kg（本体：23.7kg + トナーカートリッジ：0.4kg）です。必ず2人以上で持ち運んでください。



機械を持ち上げるときは、腰を痛めないよう、ひざを折り、指示された手かけ部分を持ってから立ち上がるようにしてください。



■ DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z / DocuPrint CM210 z

機械は、付属製品を含めた総質量56.4kg（本体：30.6kg + トレイモジュール：6.6kg + 専用キャビネット：19.2kg）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

■ DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw

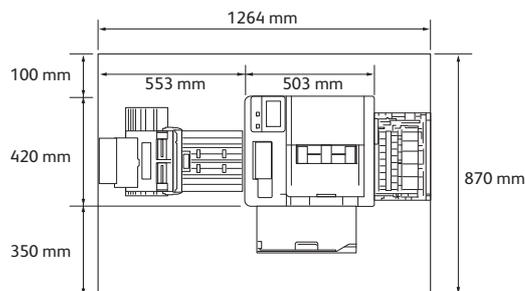
機械は、付属製品を含めた総質量49.9kg（本体：24.1kg + トレイモジュール：6.6kg + 専用キャビネット：19.2kg）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



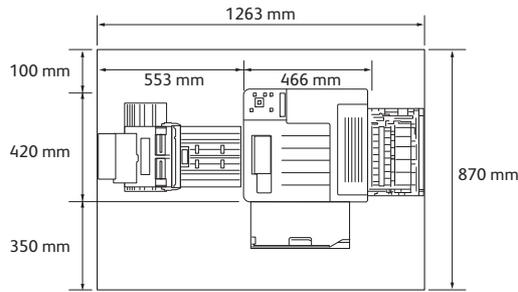
機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

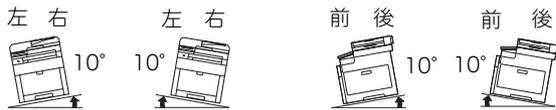
- ・ DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z / DocuPrint CM210 z



- ・ DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/
DocuPrint CP210 dw



機械を10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

●その他



本機器の使用環境は次のとおりです。

- ・ 温度：10～32℃
- ・ 湿度：10～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

⚠注意



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

機械使用上の注意

⚠警告



取扱説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所には触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・ 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・ 異常な音やにおいがするとき
- ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき

- ・ ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・ 機械の内部に水が入ったとき
- ・ 機械が水をかぶったとき
- ・ 機械の部品に損傷があったとき



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- ・ 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・ クリップやホチキスの針などの金属類
- ・ 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

⚠注意



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。



機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



■ DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/ DocuPrint CM210 z

書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



機械を移動するときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

△警告

- ❗ 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
- ❗ こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- ⊘ トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- ⊘ トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

△注意

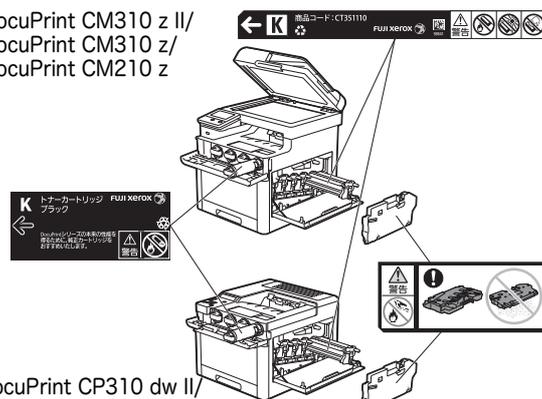
- ❗ ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ❗ ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ❗ 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



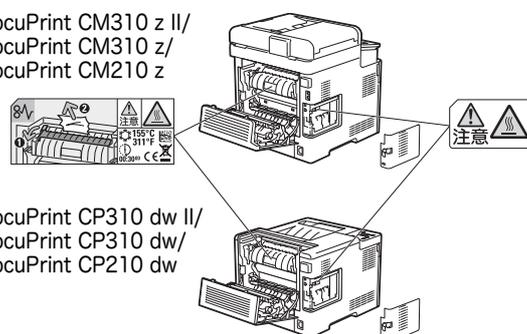
機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。
やけどや感電の原因となるおそれがあります。

DocuPrint CM310 z II/
DocuPrint CM310 z/
DocuPrint CM210 z



DocuPrint CP310 dw II/
DocuPrint CP310 dw/
DocuPrint CP210 dw

DocuPrint CM310 z II/
DocuPrint CM310 z/
DocuPrint CM210 z



DocuPrint CP310 dw II/
DocuPrint CP310 dw/
DocuPrint CP210 dw

環境について

- ・ 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物 (TVOC) の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しております DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw/DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 z トナーを使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。)
- ・ 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・ 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- ・ 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。
(表示A特性音響パワーレベルLWAd が63dB を超える場合は音が気になると言われております。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

■ サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

規制について

⚠警告



- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
 - ・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
 - ・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・産業・化学・医療用機器
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ①構内無線局（免許を要する無線局）
 - ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。
- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。
 - ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
 - ・その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本装置（DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 z/DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw）を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 z/DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw）を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置の無線装置部分から22cm以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から12cm以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（DocuPrint CM310 z II/DocuPrint CM310 z/DocuPrint CM210 z/DocuPrint CP310 dw II/DocuPrint CP310 dw/DocuPrint CP210 dw）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について

⚠注意



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について

⚠注意



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と認められたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
- 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
- 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
- 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
- 役所または公務員の印影、署名、記名。
- 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

- 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
- 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
- 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

無線 LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

無線モジュール内蔵について

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS/OF 4

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式がDS-SS方式であることを表す。
（IEEE802.11bのとき）

「OF」：変調方式がOFDM方式であることを表す。
（IEEE802.11g/nのとき）

「4」：想定される干渉距離が40m以下であることを表す。

「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

本機のお問い合わせ先については、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。